

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

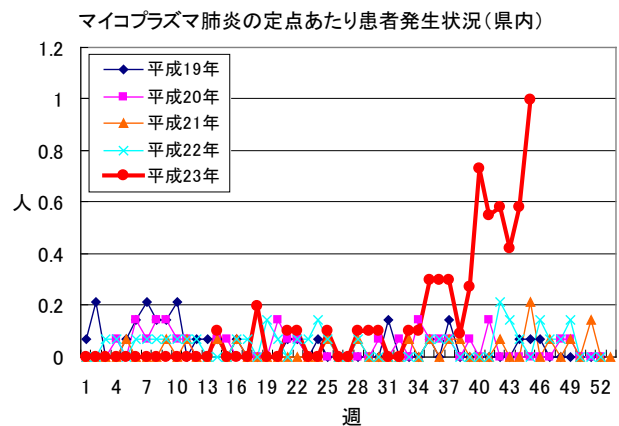
定点把握感染症 (指定された医療機関から報告をを求める感染症です)

マイコプラズマ肺炎

定点あたり患者数は今週 **1.00 人** (先週は 0.58 人) と大幅に増加しました。今年は全国的にも例年に比して患者数が多く、注意が必要です。近隣府県ではこれまで大阪府や岡山県の患者数が多かったのですが、兵庫県の患者数も後追的に多くなってきています。

症状や予防法などは、国の感染症情報センター発行の週報 (IDWR) をご覧ください。

<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2011/idwr2011-43.pdf>

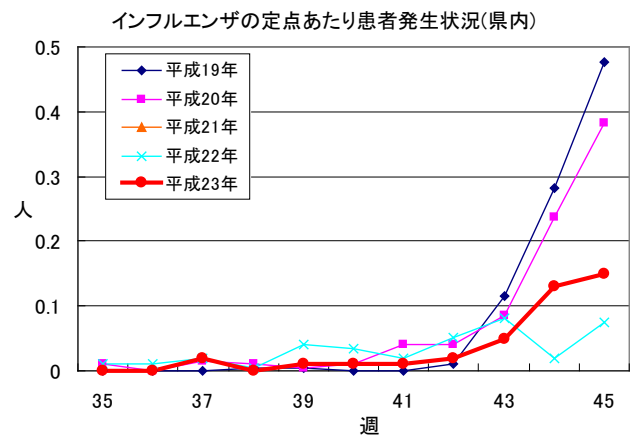
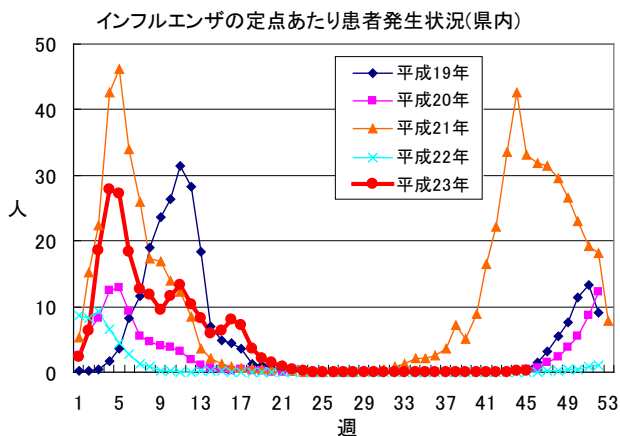


インフルエンザ

インフルエンザの定点あたり患者数は今週 **0.15 人** (先週 0.13 人) となりました。患者数の伸びはゆるやかでしたが、先週は洲本保健所管内からの報告に大きく偏っていたのが、今週は瀬戸内海沿岸地域を中心に患者報告の広がりが出てきました。患者数としてはまだ少ないですが、県内の過去の動向から、これ位の患者数が報告されるようになると週ごとに患者数が増えていき、平均して1か月後ぐらいには流行開始の目安とされている定点あたり1人を超えることが多い傾向がみられます。

学校臨時休業情報では、神戸市須磨区の小学校2校、洲本市の中学校1校でインフルエンザによる学級閉鎖が報告されています。

インフルエンザの予防として、手洗い、うがい、咳エチケットの励行、マスクの着用など、インフルエンザに罹らない、広げない対策が重要です。また、感染が疑われる場合は早めの受診が重要です。



(左のグラフを部分的に拡大しています)

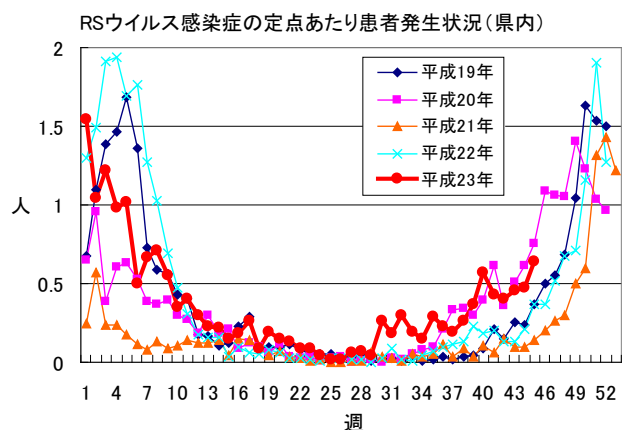
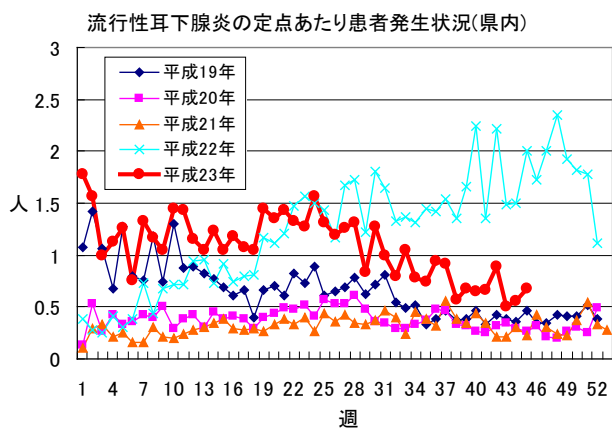
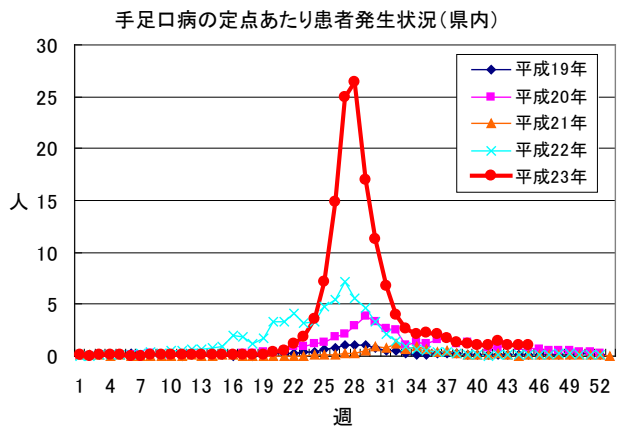
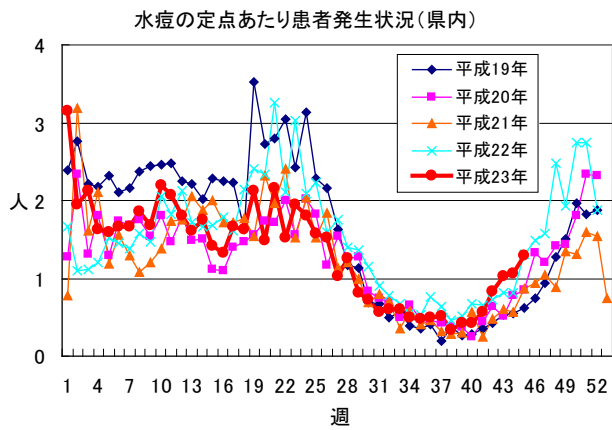
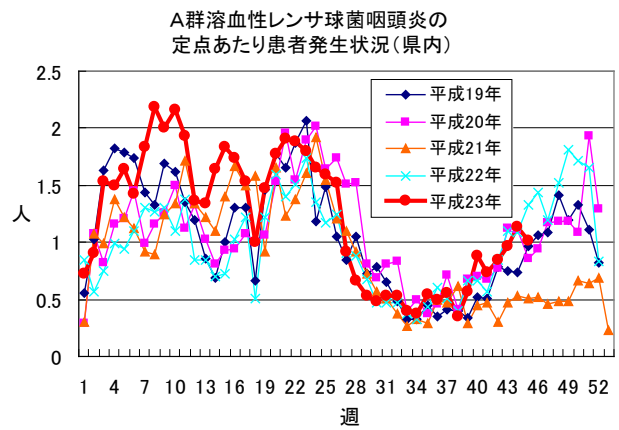
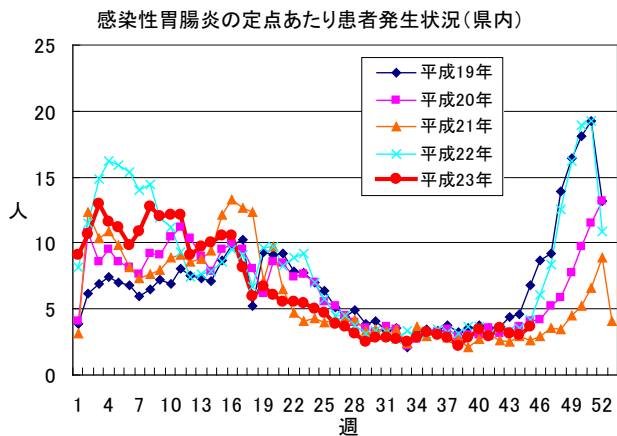
定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1 位	感染性胃腸炎	3.67	3.04	+0.63	6 位	流行性耳下腺炎	0.68	0.56	+0.12
2 位	水痘	1.29	1.07	+0.22	7 位	RS ウイルス感染症	0.64	0.47	+0.17
3 位	手足口病	1.11	1.10	+0.01	8 位	突発性発しん	0.57	0.53	+0.04
4 位	A 群溶血性連鎖球菌咽頭炎	1.02	1.13	-0.11	9 位	流行性角結膜炎	0.49	0.37	+0.12
5 位	マイコプラズマ肺炎	1.00	0.58	+0.42	10 位	咽頭結膜熱	0.26	0.14	+0.12

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	結核 31 名 （神戸市 15 名、尼崎市 4 名、姫路市 1 名、伊丹保健所管内 4 名、宝塚保健所管内 1 名、明石保健所管内 1 名、加古川保健所管内 2 名、龍野保健所管内 2 名、洲本保健所管内 1 名）
3 類感染症	報告はありません。
4 類感染症	A 型肝炎 1 名 （尼崎市；女性 70 歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；不明）
5 類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病 1 名 （尼崎市；古典型クロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）女性 60 歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；不明）、 後天性免疫不全症候群 1 名 （無症候性キャリア）（感染地域；国内）（感染経路；同性間性的接触）、 梅毒 1 名 （姫路市；晩期顕症梅毒 男性 60 歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；異性間性的接触）
追加報告	結核 1 名 （洲本保健所管内）

目で見える動向（県内）



この週報は兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。